

都市再生整備計画 事後評価シート
新荘・常磐地区

平成24年3月

茨城県水戸市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	茨城県		市町村名	水戸市		地区名	新荘・常磐地区			面積	170ha		
交付期間	平成19年度～平成23年度		事後評価実施時期	平成23年度		交付対象事業費	1,273.5百万円	国費率	0.39				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	道路(借楽園公園上水戸線、上市98号線)、公園(保和苑)、地域生活基盤施設(ロマンチックゾーン誘導案内板)、高次都市施設(水戸市新荘公民館・市民センター、水戸市常磐公民館・市民センター)									
	当初計画から削除した事業		提案事業	地域創造支援事業(あじさい植付事業、芸術鑑賞事業、特色ある学校づくり推進事業、まごころネット事業、船中泊事業、水戸市新荘公民館・市民センター(図書室)整備事業) 事業活用調査(道路改築調査設計計画)									
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	新たに追加した事業		基幹事業	地域生活基盤施設(保和苑周辺駐車場整備)			事業項目の見直しにより削除			あじさいまつり(保和苑)来客数の指標に関係するが、数値目標は据え置く			
			提案事業	地域創造支援事業(周辺道路景観整備事業、ロマンチックゾーン地域振興事業)			事業項目の見直しにより削除			あじさいまつり(保和苑)来客数の指標に関係するが、数値目標は据え置く			
交付期間の変更		当初	平成19年度～平成23年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			-					
		変更	-										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
								モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期
	指標1	最大渋滞長	m	300	H18	150	H23		300	×	あり	歩行者の安全の確保や、地域住民の利便性の向上、さらに、医療・福祉の拠点へのアクセス性の向上等を実現するための、本地区の基幹的な道路と位置づけ、借楽園公園上水戸線の道路整備を計画していたが、未完成のため、目標値に達することはできなかった。	-
	指標2	あじさいまつり(保和苑)来客数	人/期間	131,000	H18	157,000	H23		89,000	×	あり	保和苑の環境整備やロマンチックゾーン誘導案内板の設置を行った結果、あじさいまつり(保和苑)の来客数が従前値の131,000人から評価値の89,000人となり、目標値に達成することはできなかった。しかし、これは震災の影響によるものであり、前年度については従前値より6,000人増加していることから事業による一定の効果が図られた。	H24年9月
	指標3	公民館・市民センターの利用者数	人/年	63,000	H17	76,000	H23		81,000	○	あり	市民センターにおける施設の老朽化や駐車場不足を解消するため、新荘市民センター及び常磐市民センターの改築事業等を行った結果、両センターにおいて開催された各種講座等の利用者数については、目標値の76,000人を上回る81,000人(評価値=推計値)となり、地域コミュニティづくりの強化が図られた。	H25年9月
	指標4										あり		
指標5										なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
								モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み	(総合所見)	予定時期
	その他の数値指標1	あじさいまつり(保和苑)1日あたりの来客数【H22/H18】	人/日	4,852	H18				6,227			保和苑及び周辺の環境整備を行った結果、あじさいまつり(保和苑)1日あたりの来客数が従前値の4,852人/日から評価値の6,227人/日となり、本地区の新たな観光資源を生かしたまちづくりにおける効果があった。	H24年9月
その他の数値指標2													
4)定性的な効果発現状況	なし												
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	モニタリング	各種事業を円滑に進めるため、庁内で横断的に連携を図り、進行管理を行った。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●	事業実施中に適宜モニタリングを実施することで、事業の成果の達成見込みや数値目標の変更などに対応する。	
	住民参加プロセス	なし				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった						-	
	持続的なまちづくり体制の構築	事業終了後の継続的なまちづくり活動を図るため、地元を中心とした実行委員会や観光連絡協議会による継続的なまちづくり活動を実施していく。				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●	各種関連団体等との連携を図り、ロマンチックゾーンと周辺史跡等のPRに努めるとともに、地域の文化・観光の振興を図り、観光資源を活かした継続的なまちづくり活動を実施していく。	

様式2-2 地区の概要

新荘・常磐地区(茨城県水戸市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標:良好な住環境の形成と新たな観光資源を生かし、地域コミュニティの強化を図ることによる快適なまちづくりの実現 目標1:交通利便性の向上 目標2:新たな観光資源を生かしたまちづくり 目標3:子どもから大人まで豊かな人間形成による地域コミュニティづくり	最大渋滞長	単位:m 300 H18	150 H23	300 H23
	あじさいまつり(保和苑)来客数	単位:人/期間 131,000 H18	157,000 H23	89,000 H23
	公民館・市民センターの利用者数	単位:人/年 63,000 H17	76,000 H23	81,000 H23
	あじさいまつり(保和苑)1日あたりの来客数	単位:人/日 4,852 H18		6,227 H22

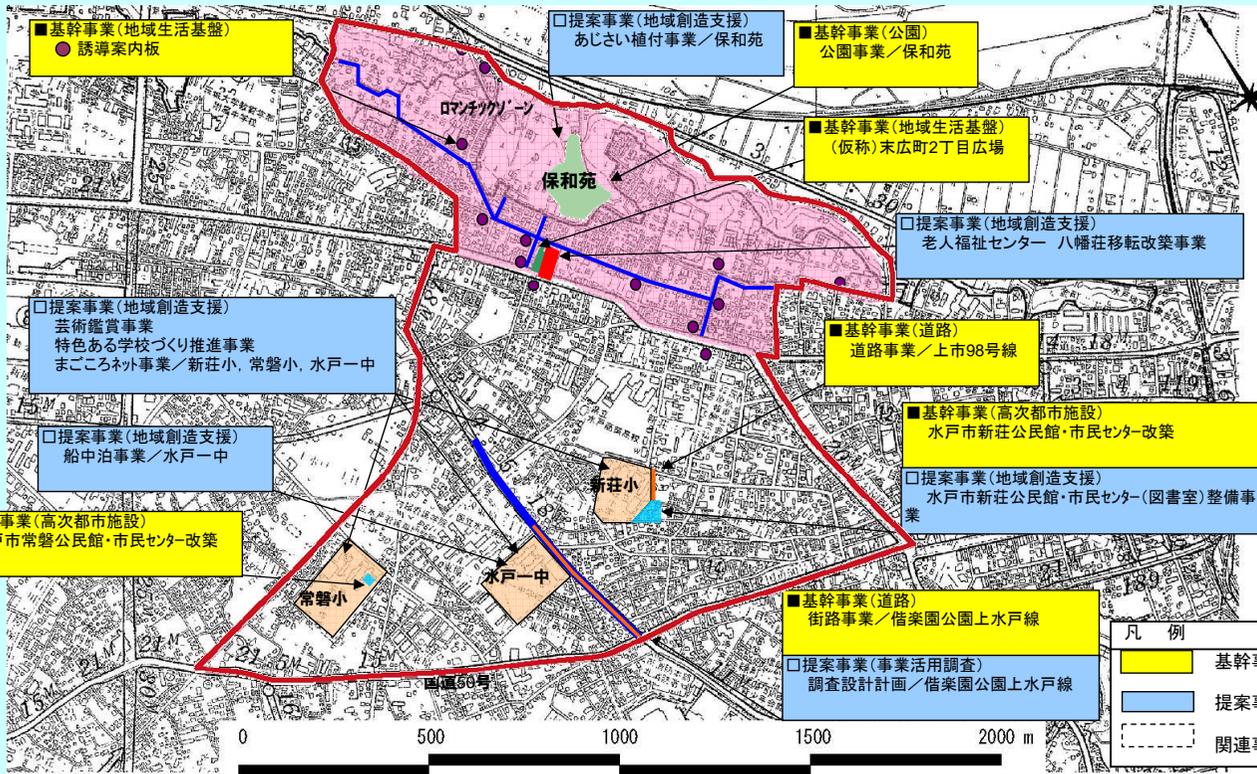
【公園/保和苑】



【地域生活基盤整備/ロマンチックゾーン誘導案内板】



【高次都市施設/水戸市常磐公民館・市民センター改築】



【地域創造支援/老人福祉センター八幡荘移転改築事業】



【高次都市施設/水戸市新荘公民館・市民センター改築】



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> 保和苑周辺環境整備を行った結果、あじさいまつり(保和苑)の来客数は従前値(平成18年度)から比べ、平成22年度は6,000人増加していることから、新たな観光資源を生かしたまちづくりにおいて一定の魅力アップが図られたが、目標値には達していないことから、さらなる魅力アップが求められる。 市民センターにおける施設の老朽化や駐車場不足を解消するため、新荘市民センター及び常磐市民センターの改築事業を行った結果、新荘市民センター及び常磐市民センターにおいて開催された各種講座等の利用者数については、目標値の76,000人を上回る81,000人(評価値=推定値)となり、地域コミュニティづくりの強化が図られた。 各小中学校での独自の活動や地域の実態等を生かした教育活動として、花に囲まれた美しい学校づくりや芸術鑑賞会等を開催し、特色ある学校づくりを推進することができた。 偕楽園公園上水戸線の道路整備が未完成のため、基幹的な道路整備による地区内の交通利便性の向上が求められている。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> 偕楽園公園上水戸線の早期整備を推進し、地区内の交通利便性の向上を図る。 保和苑の周辺における道路景観整備により、保和苑周辺の観光資源を生かした魅力の向上を目指す。 市民センターなど地域コミュニティの活動拠点における地元組織による活動の支援を行う。 さらに健全で調和の取れた人間関係を育むために、特色ある学校づくりを推進する。 保和苑周辺における魅力向上のため、末広町2丁目広場を活用した各種イベントの開催などソフト面での活性化策を検討する。 水戸のロマンチックゾーンにおける歩行者空間整備による各拠点間の回遊性の向上を図る。